

北海道すきやき隊
(子育て応援団)は、
毎月19日を「道民育児の日」として
子育て中の方が
定時に退勤するなど、
子どもとふれあう時間を
増やすことで
「子育てしやすい北海道」を
めざしています。

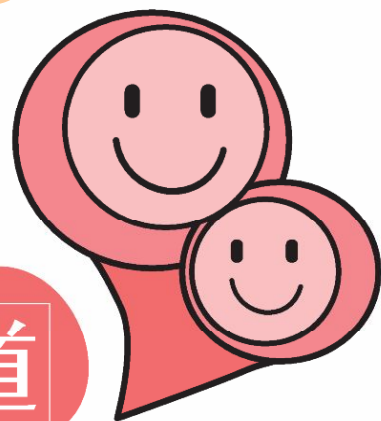
今日は
いつもより、
ちよっと多めに
子どもの笑顔に
ふれてみませんか？

毎月19日は 「道民育児の日」

子育て応援団

北海道

すきやき隊



北海道すきやき隊
(子育て応援団)

北海道全体で
子育て支援を進めるため、
企業や団体などの参加により、
平成18年10月22日に結成した
子育て応援団です。

「道民育児の日」の推進は、
その活動の一つです。

毎月第3日曜日は
道民家庭の日

「道民家庭の日」とは、
家族で団らんができる日として、
(財)北海道青少年育成協会が
主唱している日です。

「道民育児の日」とともに、
子育てしやすい社会環境づくりを
めざしています。



北海道すきやき隊(子育て応援団)／北海道保健福祉部子ども未来推進局

詳しくは道庁のホームページを御覧ください。 URL <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kms/indx>

ご存じですか？「道民育児の日」

今日はいつもより、ちょっと多めに子どもの笑顔にふれてみませんか？

- 北海道では、全国を上回る速さで少子化が進行しており、このことは、子どもの自主性や社会性が育ちにくくなること、また、生産年齢人口（15～64歳）の減少等により、経済や地域社会の活力が低下することなど、北海道の将来に広く深刻な影響を与えることが懸念されます。
- このような少子化の流れを変えるためには、人々が安心して子どもを育てることができる環境を整備する必要があり、とりわけ、男性も家庭でしっかりと子どもに向き合う時間が持てるような、子育てしやすい社会環境づくりが求められています。
- 子育ての時期に、家族（親子）の時間を大切に、ふれあいやコミュニケーションを図ることは、家族（親子）の絆を強めることのほか、子どもを持つことに対する喜びを配偶者とともに実感することができ、かつ、安心して子どもを育て、子どもたちが健やかに成長していく上で、極めて大きな意義を持つものと考えます。
- こうした中、道内の幅広い団体や企業などが参加する「北海道すきやき隊（子育て応援団）」(*)では、子育て中の職員（社員）が定時に退勤するなどして、家族とふれあい、コミュニケーションを図ることができる「子育てしやすい環境」をつくる取組を北海道全体に広げていくため、毎月19日を「道民育児の日」として定め、その推進（普及啓発）に取り組んでいます。

* 「北海道すきやき隊（子育て応援団）」とは…

経済界をはじめ、保健・医療、福祉、教育などの幅広い団体のほか、企業などの参加のもとで、子育て支援に係る様々な取組を推進するため、去る10月22日に結成されました。（隊長：高橋はるみ知事）

「道民育児の日」の推進はその活動の一つであり、財団法人北海道青少年育成協会が推進している「道民家庭の日」（毎月第3日曜日）の推進と連携しながら、道民全体による具体的活動をおして、子育てしやすい社会環境づくりをめざしています。